（議案第７６号）

令和８年厚木市議会第５回会議（９月定例会議）

令和８年度
厚木市病院事業会計補正予算（第１号）

議案第７６号

令和８年度厚木市病院事業会計補正予算（第１号）

（総則）

第１条　令和８年度の厚木市の病院事業会計補正予算（第１号）は、次に定めるところによる。

（資本的収入及び支出の補正）

第２条　令和８年度厚木市病院事業会計予算（以下「予算」という。）第４条本文括弧書中「703,000千円」を「711,602千円」に、「697,666千円」を「706,268千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科　　目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収　　入			
第１款　資本的収入	1,282,000千円	22,936千円	1,304,936千円
第４項　　補助金	3,000千円	22,936千円	25,936千円
支　　出			
第１款　資本的支出	1,985,000千円	31,538千円	2,016,538千円
第１項　建設改良費	984,044千円	31,538千円	1,015,582千円

（重要な資産の取得）

第３条　予算第11条に定めた重要な資産の取得の追加は、次のとおりとする。

種　　類	名　　称	数　　量
医 療 機 器	電子カルテ医療ＤＸ拡張システム	一　　式

令和８年１０月５日提出

厚木市長　　山　口　貴　裕

令和８年度
厚木市病院事業会計
補正予算（第１号）に関する説明書

令和８年度厚木市病院事業会計
補正予算実施計画

資本的収入及び支出

収　入　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的収入			1,282,000	22,936	1,304,936	
	4 補助金		3,000	22,936	25,936	
		1 補助金	3,000	22,936	25,936	

支　出　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的支出			1,985,000	31,538	2,016,538	
	1 建設改良費		984,044	31,538	1,015,582	
		1 固定資産購入費	900,444	31,538	931,982	

令和８年度厚木市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

（令和８年４月１日から令和９年３月31日まで）

（単位：千円）

１ 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	242,590
減価償却費	1,176,202
貸倒引当金の増減額（△は減少）	830
賞与引当金の増減額（△は減少）	8,298
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	△ 1,436
退職給付引当金の増減額（△は減少）	146,551
固定資産除却費	18,604
長期前受金戻入額	△ 701,288
その他	70,860
受取利息及び受取配当金	△ 31,371
支払利息	172,256
未収金の増減額（△は増加）	△ 73,641
未払金の増減額（△は減少）	286,892
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,884
小計	1,317,231
受取利息及び受取配当金	31,371
利息の支払額	△ 172,256
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,176,346
２ 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 614,289
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△ 29,421
貸付金による支出	△ 6,120
補助金による収入	28,754
一般会計からの繰入金による収入	720,499
基金積立による支出	△ 75,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,408
３ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	558,500
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 886,659
他会計借入金の返済による支出	△ 33,521
リース債務返済による支出	△ 417,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 778,943
資金増加額（△は減少）	421,811
資金期首残高	1,046,625
資金期末残高	1,468,436

令和８年度厚木市病院事業予定貸借対照表

（令　和　９　年　３　月　３１　日）

資　　産　　の　　部

（単位：千円）

1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ 土地		2,980,808		
ロ 建物	14,264,277			
減価償却累計額	△ 5,749,740	8,514,537		
ハ 構築物	1,144,943			
減価償却累計額	△ 184,483	960,460		
ニ 器械備品	6,177,362			
減価償却累計額	△ 4,856,850	1,320,512		
ホ 車両	11,672			
減価償却累計額	△ 5,957	5,715		
ヘ リース資産	2,696,664			
減価償却累計額	△ 662,613	2,034,051		
有形固定資産合計			15,816,083	
(2) 無形固定資産				
イ 電話加入権		1,448		
ロ ソフトウェア		71,175		
無形固定資産合計			72,623	
(3) 投資その他の資産				
イ 長期貸付金		24,600		
ロ 基金				
(ｲ) 退職手当基金	75,253			
(ﾛ) 病院整備基金	3,602,393			
基金合計		3,677,646		
ハ 長期前払消費税		1,077,841		
投資その他の資産合計			4,780,087	
固定資産合計				20,668,793
2 流動資産				
(1) 現金預金			1,468,436	
(2) 未収金			1,703,242	
(3) 貯蔵品			91,526	
(4) 貸倒引当金			△ 2,330	
流動資産合計				3,260,874
資産合計				23,929,667

負　債　の　部

（単位：千円）

3 固定負債			
(1) 企業債		12,329,920	
(2) リース債務		1,849,314	
(3) 引当金			
イ 修繕引当金	28,886		
ロ 退職給付引当金	1,067,763		
引当金合計		1,096,649	
固定負債合計			15,275,883
4 流動負債			
(1) 企業債		918,775	
(2) リース債務		445,589	
(3) 未払金		1,097,861	
(4) 前受金		2,915	
(5) 預り金		44,585	
(6) 引当金			
イ 賞与引当金	364,045		
ロ 法定福利費引当金	80,627		
引当金合計		444,672	
流動負債合計			2,954,397
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		6,998,169	
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 5,450,969	
繰延収益合計			1,547,200
負債合計			19,777,480

資　本　の　部

（単位：千円）

6 資本金			4,034,683
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	2,924,458		
資本剰余金合計		2,924,458	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	62,000		
ロ 当年度未処理欠損金	2,868,954		
利益剰余金合計		△ 2,806,954	
剰余金合計			117,504
資本合計			4,152,187
負債資本合計			23,929,667

注記（令和８年度）

Ⅰ　重要な会計方針

１　資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品　総平均法による原価法による。

２　減価償却の会計処理方法

⑴ 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法による。

主な耐用年数

建物	６～４６年
構築物	３５年
器械備品	３～２０年

⑵ 無形固定資産

定額法による。なお、自己利用のソフトウェアについては利用可能期間（５年）に基づいている。

⑶ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

３　引当金の計上方法

⑴ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。なお、一般会計が負担すると見込まれる額を除く。

⑵ 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度に負担すべき支給見込額を計上している。

⑶ 法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に伴う法定福利費の支出に備えるため、当年度に負担すべき支出見込額を計上している。

⑷ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

４　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式による。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、20 年間で均等償却を行っている。

Ⅱ　予定キャッシュ・フロー計算書

重要な非資金取引

当年度、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ 1,901,640 千円、2,108,477 千円である。

Ⅲ　予定貸借対照表

企業債の償還等に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債等のうち、他会計が負担すると見込まれる額は 5,884,168 千円である。

Ⅳ　セグメント情報

当院の事業は、単一セグメントであるため、記載を省略している。

Ⅴ　リース契約により使用する固定資産

リース料総額が 300 万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が 300 万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

Ⅵ　その他

退職給付引当金の取崩しについて

当年度において、退職手当として 14,733 千円を支給するため、退職給付引当金 12,724 千円を使用する。なお、一般会計が負担する額 2,009 千円については、退職給付費から支出する。

令和８年度厚木市病院事業
資　本　的　収　入

収　入

款　　項　　目	既決予定額	補正予定額	計
1　資本的収入	1,282,000	22,936	1,304,936
4　補助金	3,000	22,936	25,936
1　補助金	3,000	22,936	25,936

支　出

款　　項　　目	既決予定額	補正予定額	計
1　資本的支出	1,985,000	31,538	2,016,538
1　建設改良費	984,044	31,538	1,015,582
1　固定資産購入費	900,444	31,538	931,982

会計補正予算実施計画説明書
及　び　支　出

（単位：千円）

節		説　　明
区　　分	金　　額	
補助金	22,936	医療分野における業務効率化・職場環境改善支援事業補助金

（単位：千円）

節		説　　明
区　　分	金　　額	
固定資産購入費	31,538	医療機器